

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

2023 年度 郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部  
一 般 選 抜 I 期  
個 別 学 力 試 験 問 題

国 語

(国語総合)

注 意 事 項

- 1 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気付いた場合は、監督者に知らせてください。

|         |  |     |  |
|---------|--|-----|--|
| 志 願 番 号 |  | 氏 名 |  |
|---------|--|-----|--|

解答は、すべて解答用紙に記入すること。

問題I 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

まず、経済学者ジャック・アタリの利他主義について考えていきましょう。

アタリは、以前からパンデミックを予想し、地球に迫る危機について①警鐘を鳴らしてきました。そのなかで、彼は地球を救うために必要な利他主義の重要性を強く②シユチヨウしてきました。

アタリの利他主義の特徴は、その「合理性」です。あるNHKの番組(注)でも、アタリはこう語っています。

「利他主義とは、合理的な利己主義にはかなりません。みずからが感染の③脅威にさらされないためには、他人の感染を確実に防ぐ必要があります。利他的であることは、ひいては自分の利益になるのです。またほかの国々が感染していないことも自国の利益になります。たとえば日本の場合も、世界の国々が栄えていれば市場が拡大し、長期的にみると国益にもつながりますよね。」

合理的利他主義の特徴は、「自分にとっての利益」を行為の動機にしているところです。他者に利することが、結果として自分に利することになる。日本にも「(A)情けは人のためならず」ということわざがありますが、他人のためにしたことの恩恵が、めぐりめぐって自分のところにかえってくる、という発想ですね。自分のためになるのだから、アタリの言うように、利他主義は利己主義にとって合理的な戦略なのです。

こうした考え方は、いうまでもなく、(B)利他主義は利己主義の対義語である、という伝統的な考え方を意図的に転倒させたものです。

「利他主義 Altruism」という言葉は、フランスのオーギュスト・コントによって、一九世紀半ばに④テイショウされるようになった、比較的新しい造語です。「alter」ですから、これは「オルタナティブ(別の、ほかの)」という言葉を使っていると分かりやすいですね。

コントが利他主義と言ったとき、この言葉は「利己主義 Egoism」に対置される言葉として想定されていました。コントにとって利他主義とは「他者のために生きる」こと、ア自己犠牲を指していたのです。

こうしたコントの考え方からすると、合理的利他主義の考え方は、まさに「ルーツをひっくりかえす」発想であるといえます。(中略)合理的利他主義は、現代の利他をめぐる主要な考え方のひとつとなっています。

利益を動機とするという点で合理的利他主義の特徴をさらに推し進めたのが、効果的利他主義です。効果的利他主義の考え方は、日本人の感覚からするとちょっとギョツとしてしまうところもあるのですが、二〇〇〇年代半ばころから、英語圏を中心とする若者エリート層のあいだでかなりの広がりを見せています。

効果的利他主義の理論的支柱となっているのは、哲学者のピーター・シンガーです。彼は、効果的利他主義の原則を、こう述べています。

「効果的な利他主義は、非常にシンプルな考え方から生まれています。「私たちは、自分にできる（いちばんたくさんのお金を）をしなければならぬ」という考え方です。」（『あなたが世界のためにできるたったひとつのこと——効果的な利他主義』のすすめ）

自分にできる（いちばんたくさんのお金のこと）。ポイントは、「いちばんたくさんのお金」というところにあります。最大多数の最大幸福。つまりこれは「功利主義」の考え方です。

効果的利他主義は、単に功利主義をとなえるにとどまらず、(C) 幸福を徹底的に数値化します。 イ 自分の財産から一〇〇〇ドルを寄付しようとする場合、それをどの団体に、どのような名目で寄付すると、もっとも多くの善をもたらすことができるのか。得られる善を事前に評価し、それが最大になるところに寄付の対象を定めることによって、効率よく利他を行おうとするのです。

シンガーの本から具体的な例を引いてみましょう。アメリカで盲導犬を二頭養成するのに必要な金額は四万ドルである、という数字があげられています。これは発展途上国でトラコーマという目の病気を四〇〇人から二〇〇〇人治療できる金額に相当します。ならば、アメリカ国内での盲導犬の養成よりも、発展途上国での治療のためにお金を払ったほうが、より多くの目の悪い人を助けることができる。つまり「より多くのいいこと」ができるので、発展途上国のトラコーマ治療のために寄付したほうが効果的である、と判断されることとなります。

実際、アメリカを中心にさまざまな効果的利他主義の団体が立ち上がっていますが、そのウェブサイトを見ると、行われているのは徹底的な「評価と比較」です。シンガーの著作名を冠した「The Life You Can Save」というサイトでは、「Best Charities」としてオススメの効果的な寄付先のリストが用意されており、ボタンひとつで手軽に寄付ができるようになっていきます。（中略）

効果的利他主義は、なぜここまで数値化にこだわるのか。それは、(D) 利他の原理を「共感」にしないためです。 最近親戚が亡くなったから、がん治療の研究をしている組織に寄付しよう。

職場に視覚障害者がいるから、盲導犬の育成を行っている団体に寄付しよう。

こんなふうに考えるのが、共感にもとづく利他だ、と彼らは言います。日本風にいえば、「縁」があつたもの、精神的物理的に近いものに対して、<sup>⑤</sup>施しをしようとする。

ウ、効果的利他主義は、こうした共感にもとづく利他を否定します。共感にもとづいて行動してしまうと、ふだん出会うことのない遠い国の人や、そもそもその存在を意識していない問題にアプローチできないからです。

エ、だからといって、効果的利他主義者も共感そのものを否定するわけではありません。しかし、利他的な行動が共感に支配されないようにすること、共感よりも理性にもとづいて利他を行うことが重要である、と云うのです。シンガールの言葉を引いてみましょう。

「効果的な利他主義者は、(中略)ともすれば人生を支配してしまいがちな個人的な思い入れから、自分を切り離すことができているのです。個人の思い入れを切り離すことがすべてではありませんが、それが生き方に大きな違いをもたらしています。その根底には、自分の「傾向や好みや愛情」から独立した視点で、自身の生き方を評価するような、理性の力があります。」(同前)

(伊藤亜紗編著『利他』とは何か』集英社新書 二〇二一年、一部改変)

(注)二〇二〇年四月一日放送、E T V特集 緊急対談 パンデミックが変える世界と海外の知性が語る展望

【一】傍線部①、⑤の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直して書きなさい。(二点×五＝十点)

【二】次の言葉の中から、二重傍線部(A) 情けは人のためならずに最も近い意味をもつものを一つ選び、記号で答えなさい。(二点)

ア 悪女の深情け

イ 陰徳あれば陽報あり

ウ 情けも過ぐれば仇となる

エ 因果応報

オ 正直者が馬鹿を見る

【三】ア イ ウ エ に入る適当な言葉を一つ選び、番号で答えなさい。(二点×四＝八点)

- ① もちろん
- ② あるいは
- ③ たとえば
- ④ つまり
- ⑤ ところが

【四】二重傍線部 (B) 利他主義は利己主義の対義語である、という伝統的な考え方を意図的に転倒させたものとあるが、それによって、何がどのよ  
うに変わるのか。本文中の言葉を使って説明しなさい。(六分)

【五】二重傍線部 (C) 幸福を徹底的に数値化しますとあるが、その理由の説明として最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。(二点)

- ア 他人と比べて、自分の方が幸福であることがわかりやすくなるから。
- イ 効率の良い利他を行うための客観的評価ができるから。
- ウ 自分より幸福な人に支援を行わないため。
- エ 税金に根拠を持つ公的補助を引き出す根拠となるから。
- オ 寄付すべき収入があるのに、寄付していない人を特定するため。

【六】二重傍線部 (D) 利他の原理を「共感」にしないためとあるが、利他の原理が「共感」になると、どのような弊害があるというのか。本文中の  
言葉を活用して、二点述べなさい。(六分×二＝十二分)

問題Ⅱ 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

読解力を自分のものにするために最初に取り組むべきなのは、(A) 語彙力を養うことだ。

とはいえ、私は「(1)四面楚歌」やら「(2)捲土重来」などという故事成語や「(3)他山の石」などのことわざを正確に知っていたり、使えたりすることが大事だとは思わない。また、日常的に使わないような難読漢字の読みを知っていたり、「(4)憂鬱」という字を書けたりしたところで、たいして意味があるとも思わない。

そのような言葉を知っていても、実際に日常生活で使う機会はないし、そんな言葉を使ったら、むしろ場違いになってしまっだろう。それを知っていたからといって、ちよつとした(5)蘊蓄を語り、物知りを気取れるだけであつて、それ以上の意味はない。読み取りができるようになると思わない。

文章を読み取れない人は、一つ一つの言葉の辞書に出てくるような意味が理解できないのではない。むしろ、その①連なりを理解できない。言葉のつながりを身をもって理解することができず、それが頭に入らない。だから、言葉の辞書的な意味を覚えることが問題ではない。言葉を自分のものにする、使えるようにすることが問題なのだ。

私が、言葉を使えるようにするために鍛えているのは「言い換え力」だ。

(B) 人は言葉によって人の能力や人柄を読み取る。その際、手掛かりになるのは、ほぼ同じような内容をどのような表現を用いて語るかだ。「俺、そんなこと知らねえよ」というのと、「僕、そんなこと、知らないです」「私はそのようなことを存じ上げません」「私はその件についての知識を持っておりません」というのでは、まったくニュアンスが異なる。

人はそのような文体を使い分けて生きている。同じ人間でも、状況によって、相手によって、自分の気持ちによって、表現を使い分ける。その場にふさわしい言い方をする。そして、話している相手にそのような自分をアピールする。

あるいは逆に、そのような言葉を聞いて、人は他人を判断する。そのような表現によって、その意味内容を理解するだけでなく、「この人は気さくな人だ」と思ったり、「下品な人だ」とか「知的な人だ」と思ったり、「②エダンできない」と思ったりする。会話というのは、相手にそう思わせようと思ったり、それに失敗したり、つい本音を漏らしてしまつたりといったことの連続であり、それをどう読むかの連続なのだ。

(C) 言葉を使うというのは、ある意味で、化粧をすることだ。

もちろん、化粧をしないで「すっぴん」のまま人前に出ることがあるように、ありのままの考えをまっすぐに語ることもある。他人からどう思われようと気にしないで、思いをそのままぶつけるような場合だ。その場合には、まずは自分の言いたいことをしっかりと相手にわからせよ

うとするだろう。だが、多くの場合、語る人は、少しいろいろをつけて相手に言葉を与える。相手がどう考えるか、相手にどう考えてほしいかを③カミして言葉を練る。思つた通りのことを語るのではなく、少し言葉を改める。相手を傷つけないようにしたり、逆に傷つけようとしたり、へりくだつてみせたり、逆に相手を④イアツしようとしたり、しっかりと理解してもらおうとしたり。

ともあれ、相手にどう思われたいか、自分がどういう人間であると思わせたいかによつて、言葉をいじる。そうした様々な言い換え、様々な言葉の⑤雰囲気を知つて、それを状況に応じて使い分ける。そこに口調が生まれ、その人の個性が生じ、文体ができる。

言葉を受け取る人は、まっすぐに理解しようとすることもあるし、語る人間のそのような語彙によつて、その表現の奥にある意味を受け取ることも多い。その人の言いたいこと、遠回しににおわせようとしていることを理解する。時には、語っている人が隠しておきたいと思つていることも、その言葉遣いから理解する。このように、語彙の使い分けを知っているからこそ、正確に読み取ることができる。

したがつて、言葉の力をつけるためにも、そして読解力をつけるためにも、一つの言い方ではない、もっと別の表現があることを知り、様々な表現を自分のものにするのが大事なのだ。そうすることによつて語彙が身につく、読解力がついてくる。

(樋口裕一 『頭がいい』の正体は読解力』幻冬舎新書二〇一九年 一部改変)

【一】傍線部①～⑤の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直して書きなさい。(二点×五＝十点)

【二】傍線部(1)～(5)の語句の意味として適当なものを次のア～オの中から選び、答えなさい。(二点×五＝十点)

ア 周囲のすべての人から非難されていること。

イ 一度失敗した者が、再び勢いを盛り返して巻き返しをすること。

ウ よその出来事や自分に対する批評が、自分の知徳をみがく助けとなること。

エ 十分に研究してたくわえた深い知識のこと。

オ 気持ち晴れ晴れせず気がふさぐこと。

【三】二重傍線部(A)「語彙力を養うこと」とあるが、具体的にはどのようなことか。本文中の語句を用いて答えなさい。(四点)

【四】二重傍線部（B）「人は言葉によつて人の能力や人柄を読み取る」とあるが、具体的にどのような内容を読み取るのか。「能力」「人柄」のそれぞれについて、本文中の語句を用いて答えなさい。（四点×二＝八点）

【五】二重傍線部（C）「言葉を使うというのは、ある意味で、化粧をすることだ」とあるが、「化粧をする」とはどのようなことか。また、なぜ「化粧をする」のか。それぞれ、本文中の語句を用いて答えなさい。（四点×二＝八点）

【六】本文を踏まえ、「読解力をつける」ことについて、あなたの考えを二〇〇字以内で書きなさい。（二十点）



解答用紙

|    |    |  |
|----|----|--|
| 氏名 | 国語 | 二〇二三年度 郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部<br>一般選抜試験Ⅰ期 個別学力試験 |
|    |    | 志願番号   |

|    |
|----|
| 得点 |
|----|

問題Ⅰ

|    |    |    |    |    |    |     |
|----|----|----|----|----|----|-----|
|    |    |    |    |    |    |     |
|    |    |    |    |    |    | ①   |
|    |    |    |    |    |    | ②   |
|    |    |    |    |    |    | ③   |
|    |    |    |    |    |    | ④   |
|    |    |    |    |    |    | ⑤   |
| 6点 | 6点 | 2点 | 6点 | 8点 | 2点 | 10点 |

問題Ⅱ

|    |    |    |    |    |     |     |
|----|----|----|----|----|-----|-----|
|    |    |    |    |    |     |     |
|    |    |    |    |    | (1) | ①   |
|    |    |    |    |    | (2) | ②   |
|    |    |    |    |    | (3) | ③   |
|    |    |    |    |    | (4) | ④   |
|    |    |    |    |    | (5) | ⑤   |
| 4点 | 4点 | 4点 | 4点 | 4点 | 10点 | 10点 |

【六】

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

20点

|    |   |   |  |
|----|---|---|--|
| 氏名 | 国 | 語 | 二〇二三年度 郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部<br>一般選抜試験Ⅰ期 個別学力試験 |
|    |   |   | 志願番号   |
|    |   |   |  |

|  |    |
|--|----|
| 二〇二三年度 郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部<br>一般選抜試験Ⅰ期 個別学力試験 |    |
| 氏名   | 国語 |
| 志願番号   |    |
| 得点   |    |

問題Ⅰ

|   |  |        |     |
|---|--|--------|-----|
| 【二】   | ①  | けいししょう | 10点 |
|   | ②  | 主張     |     |
|   | ③  | きょうい   |     |
|   | ④  | 提唱     |     |
|   | ⑤  | ほどこ    |     |
| 【三】   | ア  | ④      | 8点  |
|   | イ  |        | 2点  |
| 【四】   | (例) 従来は、自己犠牲を意味した利他主義が、自己のために生きる意味へと変化するなど。                |        |     |
|   | 6点   |        |     |
| 【五】   | イ  |        |     |
|   | 2点   |        |     |
| 【六】   | (例1) ふだん出会うことのない遠い国の人々や、そもそもその存在を意識していない問題にアプローチできないという弊害。 |        |     |
|   | 6点   |        |     |
| (例2) 人生を支配してしまいがちな個人的な思い入れから自分を切り離すことができなくなるという弊害。                  |  |        |     |
| (例3) 自分の「傾向や好みや愛情」から独立した視点で自身の生き方を評価するような理性の力によって生きることができなくなるという弊害。 |  |        |     |
| 以上などから、二点を指摘していること。   |  |        |     |
| 6点  |  |        |     |

問題Ⅱ

|                             |                   |  |     |
|-----------------------------|-------------------|--|-----|
| 【二】                         | ①                 | つら   | 10点 |
|                             | ②                 | 油断   |     |
|                             | ③                 | 加味   |     |
|                             | ④                 | 威圧   |     |
|                             | ⑤                 | ふんいき   |     |
| 【三】                         | ①                 | ア  | 10点 |
|                             | ②                 | イ  |     |
|                             | ③                 | ウ  |     |
|                             | ④                 | オ  |     |
|                             | ⑤                 | エ  |     |
| 【四】                         | 能力                | (例) 状況によって、相手によって、自分の気持ちによって、表現を使い分け、その場にふさわしい言い方をする能力。          | 4点  |
|                             | 人柄                | (例) 相手の言葉を聞いて、その表現によって、読み取られる「気さくな人」「下品な人」「知的な人」「油断できない人」といった人柄。 | 4点  |
| 【五】                         | 「化粧をする」とはどのようなことか | (例) ありのままの考えをまっすぐに語るのではなく、語る人が、少しいどりをつけて相手に言葉を与えること。             | 4点  |
|                             | なぜ「化粧をするのか」       | (例) 相手にどう思われたいか、自分がどういう人間であると思わせたいかによって、言葉をいじるため。                | 4点  |
| (例) 言葉を自分のものにする、使えるようにすること。 |                   |  |     |
| 4点                          |                   |  |     |

【六】

- 採点のポイント
- ・ テーマ「読解力をつけること」に合った内容か。
  - ・ 常体と敬体が混在していないか。
  - ・ 話し言葉になつていないか。
  - ・ (ら抜き言葉、違かつた、「なので」始まり等)
  - ・ 誤字／脱字はないか。
  - ・ 文字数は適切か。(一五〇～二〇〇字)

20点

|      |        |  |
|------|--------|--|
| 氏名   | 国<br>語 | 二〇二三年度 郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部<br>一般選抜試験Ⅰ期 個別学力試験 |
| 志願番号 |        |  |